

小型模擬人工衛星（缶サット）で実践宇宙教育 第3回 缶サット・リーダー・トレーニング・プログラムを 首都大学東京で開催決定（平成24年7月開催）

首都大学東京大学院システムデザイン研究科航空宇宙システム工学域では、世界各国の研究者及び指導者を対象とした実践宇宙教育の場である『第3回 缶サット・リーダー・トレーニング・プログラム (CLTP3)』を特定非営利活動法人 大学宇宙工学コンソーシアム（以下UNISEC）と共催のうえ、平成24年7月17日から約1か月間首都大学東京において実施することを決定しましたのでお知らせします。

1 開催概要

- ◆ 開催期間： 平成24年7月17日（火）から 8月20日（月）
- ◆ 開催場所： 首都大学東京 日野キャンパス（東京都日野市旭が丘6-6）
※ 実証実験地については別途調整中
- ◆ 参加者（予定）： 宇宙教育に携わる世界各国の研究者及び指導者 約10名
※ UNISECにおいて海外の大学・研究機関より参加者を募集
- ◆ 指導担当教員： 首都大学東京 システムデザイン研究科 航空宇宙システム工学域
佐原宏典 准教授
- ◆ 主催： 特定非営利活動法人 大学宇宙工学コンソーシアム (UNISEC)、首都大学東京

2 主なプログラム（予定）

- ◆ 宇宙工学基礎講座（公用語：英語）
- ◆ 缶サット（小型模擬人工衛星）*の制作
- ◆ 実証実験

缶サットとは

約350m以下1以下の空き缶の中に制御機器や観測機器、通信機等を搭載した超小型の模擬人工衛星。本プログラムでは全てを手作りにて制作するとともに、小型ロケットやバルーン等で打ち上げ、地上に降下させながらデータ収集や通信実験を行います。

- ◆ 本プログラムについては佐原准教授の指導のもと、首都大学東京の学生が海外からの参加者のメンターとなり、プログラムを実践していきます。



※「缶サット・リーダー・トレーニング・プログラム (CLTP)」は「ほどよしプロジェクト」*の一環で、内閣府の総合科学技術会議で制度化された「最先端研究開発支援プログラム」(略称：FIRSTプログラム)のもと、日本学術振興会を通して助成されています。

*「ほどよしプロジェクト」：東京大学大学院工学系研究科（航空宇宙工学専攻）中須賀教授が中心研究者を務める「日本発の“ほどよし信頼性工学”を導入した超小型衛星による新しい宇宙開発・利用パラダイムの構築」プロジェクトです。

【問い合わせ先】 首都大学東京大学院 システムデザイン研究科 航空宇宙システム工学域
TEL: 042-585-8624

「缶サット・リーダー・トレーニング・プログラム」について

缶サット・リーダー・トレーニング・プログラム（CanSat Leader Training Program、以下 CLTP）は、主に途上国の物理学・航空宇宙工学分野の教育者・研究者を対象に実施する、缶サット（CanSat）を使用した実践的宇宙工学教育メソッドを指導するプログラムです。缶サットは、約350ml以下の空き缶の中に制御機器や観測機器、通信機などを搭載した超小型の“模擬”人工衛星で、本プログラムでは基盤からすべて手作りで製作します。缶サットを小型ロケットやバルーン等で打上げ、地上に降下させながらデータ収集や通信実験等を行うことができるため、現在は実践的かつ有効な教育ツールとして高校や大学で利用されています。

◆ 第1回 CLTP

平成23年2月～3月
和歌山大学



◆ 第2回 CLTP

平成23年11月～12月
日本大学



◆ 第3回 CLTP

平成24年7月～8月
首都大学東京

「第3回 缶サット・リーダー・トレーニング・プログラム」 指導教官（首都大学東京 佐原宏典准教授）からのコメント

「第3回CLTPを首都大学東京で開催できることを大変うれしく思います。このプログラムでは、日頃、宇宙システム工学を学ぶ私の研究室の学生たちが海外の参加者のメンターとなって約1か月間を過ごします。参加する教育・研究者、そして彼らの生徒たちにとって有益であることはもちろんですが、我々の学生にとっても、宇宙工学という共通の学問を通してお互いの文化を理解し合い、そして高め合うことのできる貴重な機会となると確信しています。



【佐原准教授の研究テーマ】革新的宇宙システムの創出とその利用法開拓による未来の宇宙の創造

【研究キーワード】超小型衛星、オープン・モジュラー、システム、推進系、姿勢制御系、信頼性解析、CanSat

首都大学東京大学院システムデザイン研究科 航空宇宙システム工学域について

航空宇宙システム工学域は首都大学東京大学院システムデザイン研究科システムデザイン専攻を構成する1つの学域であり、航空機・宇宙機の要素技術やシステム設計技術ならびに宇宙開発利用に関する研究教育を行います。航空宇宙分野をはじめ、次世代科学技術の発展を担うことが出来る、応用能力に富み、かつ広い視野を持った技術者・研究者を育成します。

また、宇宙航空研究開発機構および情報通信研究機構と連携大学院制度による研究教育交流を行っています。

*首都大学東京システムデザイン学部／研究科サイト：<http://www.sd.tmu.ac.jp/>

（学域概要）

◆開設：2006年(平成18年)4月

◆所在地：首都大学東京日野キャンパス

（〒191-0065 東京都日野市旭が丘6-6）

◆学生数：88名（博士前期課程80名、博士後期課程8名）

※平成23年5月1日現在

◆航空宇宙システム工学域ホームページ：<http://www.aerospace.sd.tmu.ac.jp/>

